

教育長
楠 義隆



明けましておめでとうございませう。皆さまにおめでとうございます。健康やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。戊午の年は、結実の年といわれています。戊午の年にふさわしい年になるように、湯浅町の学校教育に「説明責任」の充実のため、「チームワーク」を大切にし、組織全体で尽力いたします。

さて、湯浅町は、昨年、日本遺産に認定されたから多くの方々が湯浅町には至らずに去られました。湯浅町では至らずに昔ながら賑々と受け継がれてきた地域の伝統と誇り、良さを感ずることができます。湯浅町の歴史をあらたな目で眺めてみます。

業はもちろん、そこで生活する住民のなかへ、健もよく輩出していることに加え、まさに地域が人々を育て、人が地域を育てたと言っ

は地域と共に生きていくという、私たちが通っているように、

「すべての学校が『まのくにコミュニティスクール』と名を冠する」

教育委員会では、管内全ての学校において、学校と地域をつなぐきずくのくにコミュニティスクール」という制度を導入します。これまでも地域・保護者の方々には様々な学校支援活動に協力いただけてきました。その温かい地域や保護者からのお応援をもとに、学校・地域・家庭が連携・協力を密にし、相互責任にふり子供成長を支えています」

「幼児教育を所管します」

近年、幼児教育は生涯にわたる人形形成の基を培う重要なものであると言われる中、本年4月より幼児教育が教育委員会の管轄となりました。幼児から16歳までの一貫して見通しをもった教育が可能となりま

「湯浅の教育の中心に「上げほらし」
小・中学校を中心に」
朝ごはんをはじめ、生活習慣の兒直と改善を図り、生活習慣の取組を、層強化してまいります。なかでも学校の向上につきましては、検証教育の向上につきまは、児童生徒に、質の高い学習指導が展開されるよう努めてまいります。

終わりに、幼児教育、学校教育、終わりの社会教育充実させながら湯浅の教育を進めてまいりますので、教育委員会の施策等にも何卒御理解と御支援をよろしくお願い申し上げます。皆様方の御健康と御多幸をお祈りして、新年の御挨拶といたします。

湯浅町議会議長
山家 敏宏



新年明けましておめでとござい
ます。

町民の皆さまにおかれましては、
健康や初春をお迎えのことと心よ
うお慶び申し上げます。

旧年中は町議会に対しまして、温
かい支援とご協力を賜り厚くお礼
を申し上げます。

昨年4月28日 本町が醤油醸造
の発祥の地として「最初の酒」のス
トリーが、日本遺産に認定されま
した。醤油造りの歴史と伝統が、形
香り、味わいとなつて人の暮らし
の中にまぎれてきたことによさるの
だと思えます。

認定により記念イベント等により、
新たな湯場屋の魅力を町内外にPR
し、知名度向上を図っていくたもの
と自負いたします。

議会としても昨年、議場と多目的

本ルを兼ねるに取組むが、住
 民に開かれた議会と評価され、町
 町村議会協議会より町村議会全
 体を受賞しました。これも、多くの町民
 の皆さまに、なまほルを利用して
 さえ、又多くの万博観にお越したた
 いたことによるもので、議会として町民
 の皆さまへの協力感謝するものです
 る。その中で、新年を迎えることになり
 ましたが、今年も町政の進展と円
 滑な意識運営取り組み、町民の皆様
 様の意見を町政に反映させる重要な
 役割を担っていきたくと思っております。
 さて、我が国において最も大きな課
 題は、人口減少問題であり、今後
 少子化の克服や生産性の向上など社
 会、経済全体を変えます。これに取り組
 むことが課題であります。特本町の
 ような過疎地域では、人口の減少と
 高齢化により、地域コミュニティの維持

と地域活動そのものが困難になっても、定住人口を増やすためには、町外からの人の流入はいちより、現在町内で生活している皆さんが安心して住めるまちづくりが重要と考えます。

湯浅町は豊かに住みよい、活力に満ちたまちづくりを推進するため、観光資源を活用するなど地域の特色を活かし、町民の方々が中心となる地域づくりを進めていかなければならないと考えっております。

私たちが議員は、町民の代表としての自覚を新たにし、町の活性化と魅力あふれるまちづくりを目指し、取り組んでまいります。

本年も皆さまで方への指導、ご協力をお願いするが、願ひ、申し上げ、皆さまで方の益々の多幸をお祈りいたします、新年の挨拶といたします。

町長 上山 章善



皆様も、新年明けましておめでとうございませう。

平素は、町行政に対してご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も引き続き、町民の皆さまに「安心安全」と、湯浅の素晴らしい魅力を広く発信し、活気あふれる町にしたいため、全力で町の町政運営に取組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

さて、昨年4月には、「最初の一滴」醬油醸造の発祥の地 紀州「湯浅」のストーリーが日本遺産文化遺産として、わが町ゆありの歴史文化や金山寺味噌・醤油などの食文化といった魅力を広く国内外に発信する大きな一歩を踏み出しました。湯浅町にとって日本遺産認定は、先人たちが積み上げてきた歴史文化から生み出された魅力により多くの人に伝えられると、更に深みのあるものとしていく新たな魅力づくりのスタートであること認識しております。

そのために、多くの方に湯浅へ

お越しいただき、湯浅ならではの魅力を実際に体験していただける体験型観光コンテンツの充実に向けた施策を推進していく所定です。まずは、日本遺産にも認定された醤油醸造文化を国内外からの観光客の方々に、様々な視点から知っていただくための醤油博物館の販売と観光拠点となる特産物物流通・物販センターを警察官兼跡地を活用して整備に着手してまいります。この特産物物流通・物販センターの運営などには、昨年年末に経済産業省から地域未来牽引企業に選定された民間企業とも連携し、湯浅の魅力を更に磨き上げた観光拠点とともに、地域経済への波及効果と雇用を創出し、持続可能な観光地域づくりを目指してまいります。

また、2月には、駅前旧庁舎跡地に整備してまいりました観光レクリエーション施設が竣工し、式典を開催いたします。愛称も「湯浅駅前なぎ広場」に決定し、町民

の皆様、憩いの場として、また、町民の皆様と観光客の方との交流の場として親しんでいただきたいと思っています。

さらに、かねてより検討しております湯浅駅周辺の整備にも着手してまいりました。湯浅の玄関口にふさわしいものになるよう趣向のある現釈舎を活かすつつ、図書館などを備えた複合施設を整備し、誰もが使いやすい施設整備を進めてまいります。

本年4月には、町行政において大きな機構改革を実施します。新たな課題に迅速かつ的確に対処するとともに、子育てや教育に関する組織を一体的に展開するなど、より効率的・効果的な体制を確立し、住民サービスの向上に努めてまいります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとって、健康で喜びと幸せに満ちた年となりますことをお祈りいたします。新年のご挨拶いたしました。

新年のご挨拶



謹んで新年のあいさつを
申し上げます

[illegible]